

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2021年2月10日から2031年1月27日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場している中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 MFS米国中型グロース株ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家専用) 米国の中型株式等 マネー・トラスト・マザーファンド 円貨建ての短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として米国の取引所に上場している中型株式等に投資を行います。 ■実質的な運用は、長期運用の実績を持つマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニー（MFS）が行います。 ■実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
組入制限	■外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
分配方針	■年1回（原則として毎年1月25日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、分配金額を決定します。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みません。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 ファンドは複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。 (基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

MFS米国中型 成長株式ファンド (為替ヘッジあり)

【運用報告書(全体版)】

(2022年1月26日から2023年1月25日まで)

第 2 期

決算日 2023年1月25日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として米国の取引所に上場している中型株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。当期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時(土、日、祝・休日を除く)

MFS米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2021年2月10日	10,000	—	—	—	—	7,079
1期(2022年1月25日)	9,191	0	△ 8.1	0.0	98.9	9,161
2期(2023年1月25日)	7,810	0	△15.0	0.0	98.4	5,846

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		公社債 組入比率	投資信託 証券組入 比率
		騰落率		
(期首)	円	%	%	%
2022年1月25日	9,191	—	0.0	98.9
1月末	8,956	△ 2.6	0.0	98.2
2月末	8,997	△ 2.1	0.0	98.6
3月末	9,239	0.5	0.0	98.4
4月末	8,275	△10.0	0.0	98.8
5月末	8,125	△11.6	0.0	98.9
6月末	7,504	△18.4	0.0	98.8
7月末	8,160	△11.2	0.0	98.4
8月末	7,789	△15.3	0.0	98.1
9月末	7,102	△22.7	0.0	98.2
10月末	7,454	△18.9	0.0	99.2
11月末	7,616	△17.1	0.0	98.7
12月末	7,476	△18.7	0.0	99.0
(期末)				
2023年1月25日	7,810	△15.0	0.0	98.4

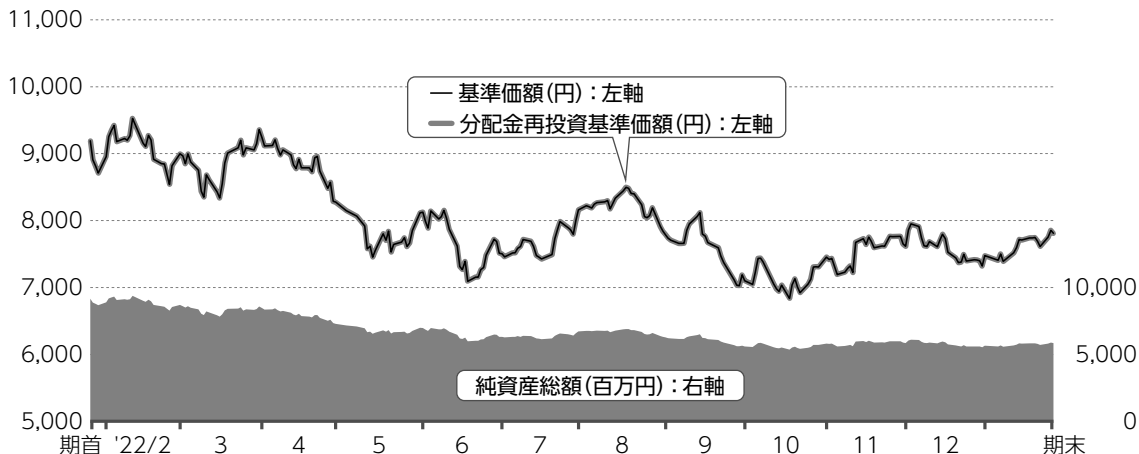
※騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

期首	9,191円
期末	7,810円 (既払分配金0円(税引前))
騰落率	-15.0% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

基準価額の主な変動要因（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として、米国の取引所に上場している中型株式等に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を図りました。

上昇要因

- インフレ鈍化の兆しから、F R B（米連邦準備制度理事会）が利上げペースを減速させるとの観測が強まったこと

下落要因

- 6月中旬にかけて、地政学リスクの高まりや金融引き締め加速を背景に、米国中型株式市場が下落したこと
- 米国長期金利（10年国債利回り）の上昇を嫌気し、成長株が下落したこと

投資環境について（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

期間における米国中型株式市場は下落しました。当ファンドで主に組み入れている成長株も下落しました。

期初から、ロシアのウクライナ侵攻を受けた地政学リスクの高まりや、物価高進を受けたFRBによる金融引き締め加速を背景にリスク回避的な動きが強まる中、6月中旬まで下落基調で推移しました。その後は企業の好決算や利上げペース減速への期待などから上昇する場面も見られましたが、FRBの金融

政策の行方を巡って株式市場は一喜一憂する展開となり、期末にかけて振れ幅の大きな一進一退で推移しました。

成長株と割安株の比較では、期を通じて成長株が相対的に軟調でした。成長株は、長期金利の上昇を背景に、相対的に大きく下落しました。

ポートフォリオについて（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

当ファンド

期を通じて、主要投資対象である「MF S米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れました。

MF S米国中型グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

●業種配分

期末の組入上位業種は、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアとなっています。個別銘柄の売買や株価の変動を通じて、期初と比較して、エネルギーや金融などの配分を

増やした一方、情報技術やコミュニケーション・サービスなどの配分を減らしました。

●個別銘柄

期末の組入上位銘柄は、半導体設計用ソフトウェアを供給するケイデンス・デザイン・システムズ、保険仲介及びリスク管理サービスを提供するアーサー・J・ギャラガー、金融サービス会社のMSCIとなっています。

期中の売買では、液体色層分析機器メーカーのウォーターズを新規に組み入れた一方、薬剤開発リサーチツールを提供するチャールズリバー・ラボラトリーズ・インターナショナルを全て売却しました。

●ポートフォリオの特性

米国中型株式を中心に、企業ファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）の分析に基づき、強い価格決定力を備え、クオリティの高い持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群への投資を継続しています。その結果、期末では、10業種86銘柄に分散したポートフォリオを構築しています。

マネー・トラスト・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

（単位：円、1万口当たり、税引前）

項目	第2期
当期分配金	0
(対基準価額比率)	(0.00%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	0

期間の分配は、複利効果による信託財産の成長を優先するため、見送りとしたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

※単位未滿を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
 ※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

期を通じて、主要投資対象である「M F S 米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」を高位に組み入れます。

M F S 米国中型グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

米国株式市場では、企業業績の減速は否めませんが、株価に割高感はありません。インフレの先行きが不透明であり、当面は不安定な動きが続くことが予想されますが、F R B が景気後退を極力抑制しながらインフレを緩和するソフトランディング（軟着陸）、あるいは深刻にならない程度のハードランディング

（急激な景気後退）が可能との見方が強まれば、堅調な動きを取り戻すことが期待されます。

ファンドでは、企業収益およびキャッシュフローの成長が長期的には株価を決定するとの信念のもと、M F S 独自のリサーチプロセスに基づき、ボトムアップで企業ファンダメンタルズを分析します。強い価格決定力を備え、クオリティの高い持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群を見出し、長期的視野に基づいて、市場で企業価値が過小評価されていると判断した銘柄への投資を継続します。

マネー・トラスト・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

M F S 米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）

1万口当たりの費用明細（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	90円	1.133%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数／年日数) 期中の平均基準価額は7,983円です。
（投信会社）	(26)	(0.330)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
（販売会社）	(61)	(0.770)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(3)	(0.033)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	－	－	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（先物・オプション）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(c) 有価証券取引税	－	－	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	(－)	(－)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（公社債）	(－)	(－)	
（投資信託証券）	(－)	(－)	
(d) その他費用	1	0.007	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(－)	(－)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.007)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
（その他）	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	91	1.140	

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

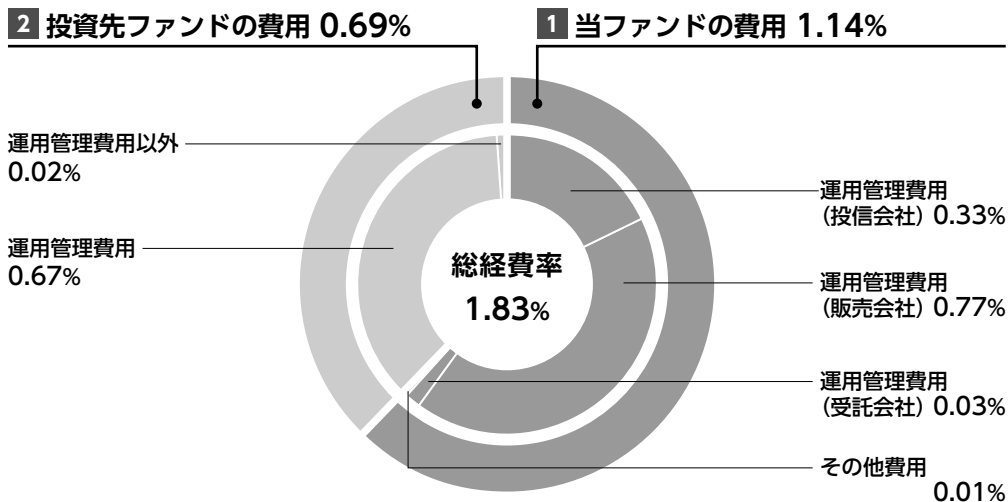
※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。



参考情報 総経費率(年率換算)



総経費率(1+2)	1.83%
1 当ファンドの費用の比率	1.14%
投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.67%
2 投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.02%

※ **1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。

※ **2**の各費用は、投資先ファンド(当ファンドが組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く))の「1万口当たりの費用明細」をもとに、投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。

※ **1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。

※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率(年率)は1.83%です。

M F S 米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）

■ 当期中の売買及び取引の状況（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

投資信託証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	M F S 米国中型グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	□	千円	□	千円
		-	-	2,477,075,936	2,112,000

※金額は受渡し代金。

※国内には、円建ての外国籍投資信託証券を含みます。

■ 利害関係人との取引状況等（2022年1月26日から2023年1月25日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 （2022年1月26日から2023年1月25日まで）

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細（2023年1月25日現在）

（1）ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首(前期末)	期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	組 入 比 率
M F S 米国中型グロース株ファンド （為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	□	□	千円	%
	9,527,552,601	7,050,476,665	5,755,304	98.4
合 計	9,527,552,601	7,050,476,665	5,755,304	98.4

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

M F S 米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）

(2) 親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	期	末
	口 数	口 数	評 価 額
マネー・トラスト・マザーファンド	千口 1,003	千口 1,003	千円 998

※マネー・トラスト・マザーファンドの期末の受益権総口数は16,009,841口です。

■ 投資信託財産の構成

(2023年1月25日現在)

項 目	期	末
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 5,755,304	% 97.5
マネー・トラスト・マザーファンド	998	0.0
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	149,408	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	5,905,711	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

（2023年1月25日現在）

項 目	期 末
(A) 資 産	5,905,711,123円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	149,408,327
投資信託受益証券(評価額)	5,755,304,101
マネー・トラスト・マザーファンド(評価額)	998,695
(B) 負 債	58,972,044
未 払 解 約 金	24,553,262
未 払 信 託 報 酬	34,218,148
その他未払費用	200,634
(C) 純資産総額(A-B)	5,846,739,079
元 本	7,485,847,467
次期繰越損益金	△1,639,108,388
(D) 受益権総口数	7,485,847,467口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,810円

※当期における期首元本額9,968,022,355円、期中追加設定元本額153,947,032円、期中一部解約元本額2,636,121,920円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

（自2022年1月26日 至2023年1月25日）

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 43,173円
受 取 利 息	7,372
支 払 利 息	△ 50,545
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 940,443,778
売 買 損 益	225,997,492
売 買 損 益	△1,166,441,270
(C) 信 託 報 酬 等	△ 77,053,823
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△1,017,540,774
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 502,943,413
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 118,624,201
(配 当 等 相 当 額)	(△ 50,375)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 118,573,826)
(G) 合 計 (D+E+F)	△1,639,108,388
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	△1,639,108,388
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 118,624,201
(配 当 等 相 当 額)	(△ 50,374)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 118,573,827)
繰 越 損 益 金	△1,520,484,187

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※株式投信の信託報酬等には消費税等相当額が含まれており、公社債投信には内訳の一部に消費税等相当額が含まれています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	0
(d) 分配準備積立金	0
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	0
1万口当たり当期分配対象額	0.00
(f) 分配金	0
1万口当たり分配金	0

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	当 期
	0円

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

MFS米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）

第1期（2021年2月3日～2022年11月21日）

◎ファンドの概要

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	<p>①MFS米国中型グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、米国の中型株式等を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、中型株式等とは、時価総額をもとにマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーが中型と判断した銘柄をいい、リート（上場不動産投資信託）およびDR（預託証券）を含みます。また、大型株式や米国以外の株式を保有する場合があります。</p> <p>②マザーファンドでは、徹底したボトムアップ・アプローチにより、米国の中型株式等の中から中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資します。</p> <p>③株式の実質組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>④実質組入外貨建資産については、原則として、対円での為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減を目指します。なお、一部の通貨については、別の通貨を用いて対円での為替ヘッジを行う場合があります。</p> <p>⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーにマザーファンドの運用の指図（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）および実質組入外貨建資産の為替ヘッジ取引の指図に関する権限を委託します。</p> <p>⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。</p>
主要投資対象	マザーファンド受益証券を主要な投資対象とします。

○1万口当たりの費用明細

（2021年2月3日～2022年11月21日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬 （投信会社） （販売会社） （受託会社）	117 (113) (1) (3)	1.228 (1.188) (0.006) (0.034)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 （株式） （新株予約権証券） （投資信託証券）	2 (2) (0) (0)	0.022 (0.022) (0.000) (0.000)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用 （保管費用） （監査費用） （その他）	4 (3) (0) (0)	0.041 (0.036) (0.005) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	123	1.291	
期中の平均基準価額は、9,538円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

（2022年11月21日現在）

親投資信託残高

銘	柄	当 期 末	
		口 数	評 価 額
MFS米国中型グロース株マザーファンド		千口 5,160,840	千円 5,731,113

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年11月21日現在）

項 目	当 期 末
(A) 資産	11,792,406,314 円
コール・ローン等	16,350,289
MFS米国中型グロース株マザーファンド(評価額)	5,731,113,632
未収入金	6,044,942,393
(B) 負債	5,869,923,302
未払金	5,857,267,142
未払信託報酬	12,575,811
未払利息	29
その他未払費用	80,320
(C) 純資産総額(A-B)	5,922,483,012
元本	7,451,429,040
次期繰越損益金	△ 1,528,946,028
(D) 受益権総口数	7,451,429,040口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,948円

〔元本増減〕

設定元本額	100,000,000円
期中追加設定元本額	11,671,349,956円
期中一部解約元本額	4,319,920,916円
1口当たり純資産額	0.7948円

○損益の状況（2021年2月3日～2022年11月21日）

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 202
支払利息	△ 202
(B) 有価証券売買損益	△1,510,949,705
売買益	1,835,456,812
売買損	△3,346,406,517
(C) 信託報酬等	△ 110,795,780
(D) 当期損益金(A+B+C)	△1,621,745,687
(E) 追加信託差損益金 (売買損益相当額)	92,799,659 (92,799,659)
(F) 計(D+E)	△1,528,946,028
(G) 収益分配金	0
次期繰越損益金(F+G)	△1,528,946,028
追加信託差損益金 (配当等相当額)	92,799,659 (2,066,692)
(売買損益相当額)	(90,732,967)
繰越損益金	△1,621,745,687

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 当期において、マザーファンドおよび当ファンドの投資信託財産の運用の指図にかかる権限の一部を委託するために要する費用として、委託者報酬から支払う額は48,547,277円です。

(注5) 当期末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(2,066,692円)より分配対象収益は2,066,692円(1万口当たり2円)ですが、当期に分配した金額はありません。

MFS米国中型グロース株マザーファンド

第1期（2021年2月3日～2022年11月21日）

◎ファンドの概要

運用会社	MFSインベストメント・マネジメント株式会社
運用方針	<p>①米国の中型株式等を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。なお、中型株式等とは、時価総額をもとにマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーが中型と判断した銘柄をいい、リート（上場不動産投資信託）およびDR（預託証券）を含みます。また、大型株式や米国以外の株式を保有する場合があります。</p> <p>②徹底したボトムアップ・アプローチをもとに、米国の中型株式等の中から中長期的に成長が期待できる銘柄を中心に投資します。</p> <p>③株式の組入比率は、原則として高位を維持します。</p> <p>④外貨建資産については、原則として、為替ヘッジを行いません。</p> <p>⑤マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービスズ・カンパニーに運用の指図に関する権限を委託します（国内の短期金融資産の運用の指図に係る権限を除きます。）。</p> <p>⑥当初設定後一定期間および資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合やファンドの投資目的が達成されない場合があります。</p>
主要投資対象	米国の中型株式等を主要な投資対象とします。

○1万口当たりの費用明細

（2021年2月3日～2022年11月21日）

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (株式) (新株予約権証券) (投資信託証券)	円 2 (2) (0) (0)	% 0.020 (0.020) (0.000) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) その他費用 (保管費用) (その他)	4 (4) (0)	0.036 (0.036) (0.000)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合計	6	0.056	
期中の平均基準価額は、11,012円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○組入資産の明細

（2022年11月21日現在）

外国株式

銘柄	株数	当期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
HESS CORP	182	2,628	368,941	エネルギー
AUTODESK INC	116	2,445	343,257	ソフトウェア・サービス
BALL CORP	282	1,556	218,526	素材
AMETEK INC	569	7,937	1,114,163	資本財
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE	373	3,689	517,810	メディア・娯楽
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL	19	2,721	381,967	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHURCH & DWIGHT CO INC	384	2,937	412,265	家庭用品・パーソナル用品
COPART INC	705	4,546	638,156	商業・専門サービス
COSTAR GROUP INC	712	5,758	808,211	商業・専門サービス
CADENCE DESIGN SYS INC	601	9,919	1,392,349	ソフトウェア・サービス
PERKINELMER INC	478	6,513	914,242	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ELECTRONIC ARTS INC	110	1,431	200,966	メディア・娯楽
EQUIFAX INC	227	4,551	638,819	商業・専門サービス
FACTSET RESH SYS INC	57	2,526	354,662	各種金融
ARTHUR J GALLAGHER & CO	491	9,558	1,341,605	保険
GARTNER INC	173	5,866	823,448	ソフトウェア・サービス
HENRY SCHEIN INC	387	3,059	429,453	ヘルスケア機器・サービス
IDEX CORP	241	5,646	792,515	資本財
IDEX LABORATORIES INC	58	2,423	340,196	ヘルスケア機器・サービス
AGILENT TECHNOLOGIES INC	411	6,013	844,037	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
LITTELFUSE INC	108	2,644	371,140	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ENTEGRIS INC	359	2,639	370,522	半導体・半導体製造装置
CHARLES RIVER LABORATORIES	49	1,196	167,901	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BRUKER CORP	522	3,458	485,405	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NICE LTD - SPON ADR	253	5,000	701,828	ソフトウェア・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	60	1,169	164,176	ヘルスケア機器・サービス
REPLIGEN CORP	51	908	127,468	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
POOL CORP	109	3,514	493,282	小売
CANADIAN PACIFIC RAILWAY LTD	66	523	73,435	運輸
SYNOPSYS INC	153	4,999	701,681	ソフトウェア・サービス
TRACTOR SUPPLY COMPANY	177	3,903	547,942	小売
TYLER TECHNOLOGIES INC	116	3,658	513,475	ソフトウェア・サービス
VULCAN MATERIALS CO	365	6,529	916,478	素材
WATERS CORP	108	3,480	488,510	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WEST PHARMACEUTICAL SERVICES	55	1,251	175,621	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
WABTEC	240	2,380	334,090	資本財
NASDAQ INC	1,012	6,635	931,364	各種金融
LKQ CORP	666	3,599	505,288	小売
ALNYLAM PHARMACEUTICALS INC	119	2,604	365,585	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
DOMINO'S PIZZA INC	63	2,337	328,101	消費者サービス
MONOLITHIC POWER SYSTEMS INC	199	7,513	1,054,630	半導体・半導体製造装置
MORNINGSTAR INC	103	2,476	347,590	各種金融
CHIPOTLE MEXICAN GRILL INC	26	4,010	562,860	消費者サービス
CONTINENTAL RES INC	36	270	37,940	エネルギー
LULULEMON ATHLETICA INC	118	4,134	580,373	耐久消費財・アパレル
ULTA BEAUTY INC	124	5,477	768,838	小売
MSCI INC	188	9,253	1,298,769	各種金融
VERISK ANALYTICS INC-CLASS A	395	6,862	963,166	商業・専門サービス

銘柄	株数	当期末		業種等
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	千アメリカドル	千円	
HYATT HOTELS CORP	379	3,633	509,971	消費者サービス
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	87	7,372	1,034,815	小売
ENPHASE ENERGY INC	103	3,223	452,462	半導体・半導体製造装置
BRIGHT HORIZONS FAMILY SOLUT	546	3,953	554,946	消費者サービス
DIAMONDBACK ENERGY INC	198	3,100	435,185	エネルギー
SERVICENOW INC	83	3,337	468,468	ソフトウェア・サービス
FIVE BELOW	156	2,421	339,887	小売
ICON PLC	273	5,934	832,939	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BLACK KNIGHT INC	660	4,014	563,492	ソフトウェア・サービス
BURLINGTON STORES INC	92	1,457	204,533	小売
VEEVA SYS INC	71	1,319	185,151	ヘルスケア機器・サービス
GUARDANT HEALTH INC	108	523	73,520	ヘルスケア機器・サービス
STERIS PLC	368	6,118	858,764	ヘルスケア機器・サービス
CLARIVATE PLC	1,247	1,154	162,081	商業・専門サービス
ENVISTA HOLDINGS CORP	1,386	5,105	716,562	ヘルスケア機器・サービス
MATCH GROUP INC	516	2,397	336,537	メディア・娯楽
HOWMET AEROSPACE INC	1,178	4,373	613,822	資本財
PAYLOCITY HOLDING CORP	204	4,235	594,470	ソフトウェア・サービス
AZEK CO INC/THE	751	1,417	198,933	資本財
DUN & BRADSTREET HOLDINGS IN	1,815	2,365	331,976	商業・専門サービス
WARNER MUSIC GROUP CORP-CL A	497	1,361	191,153	メディア・娯楽
MARAVAI LIFESCIENCES HLDGS-A	777	1,125	157,915	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
THOUGHTWORKS HOLDING INC	396	335	47,046	ソフトウェア・サービス
BUMBLE INC-A	369	852	119,696	メディア・娯楽
CHESAPEAKE ENERGY CORP	276	2,738	384,323	エネルギー
CCC INTELLIGENT SOLUTIONS HO	848	742	104,215	ソフトウェア・サービス
BIO-TECHNE CORP	53	1,742	244,593	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ASCENDIS PHARMA A/S - ADR	272	3,234	453,953	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
TRANSUNION	441	2,670	374,820	商業・専門サービス
S&P GLOBAL INC	15	540	75,829	各種金融
WASTE CONNECTIONS INC	400	5,613	787,945	商業・専門サービス
RED ROCK RESORTS INC-CLASS A	638	2,757	387,025	消費者サービス
ENDAVA PLC- SPON ADR	63	502	70,593	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	27,723	285,841	40,120,705
	銘柄数<比率>	81	-	<90.0%>
(カナダ)		千カナダドル		
CONSTELLATION SOFTWARE INC	28	5,805	608,584	ソフトウェア・サービス
TOPICUS.COM INC-SUB VOTING	53	372	39,043	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額	82	6,178	647,627
	銘柄数<比率>	2	-	<1.5%>
(ユーロ…オランダ)		千ユーロ		
ASM INTERNATIONAL NV	88	2,225	322,261	半導体・半導体製造装置
WOLTERS KLUWER	537	5,496	795,911	商業・専門サービス
ユーロ計	株数・金額	625	7,721	1,118,173
	銘柄数<比率>	2	-	<2.5%>
合計	株数・金額	28,431	-	41,886,506
	銘柄数<比率>	85	-	<94.0%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 銘柄コード等に変更・相違がある場合は、銘柄名が同一であっても別銘柄として記載しています。

外国投資信託証券

銘柄	口数	当期末		比率
		評価額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千アメリカドル	千円	%
EXTRA SPACE STORAGE INC	33,909	5,362	752,662	1.7
SBA COMMUNICATIONS CORP	13,574	3,945	553,817	1.2
合計	47,483	9,308	1,306,479	
	口数・金額 銘柄数 < 比率 >	2	—	< 2.9% >

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

* 単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年11月21日現在）

項目	当期末 円
(A) 資産	44,713,583,412
コール・ローン等	1,331,731,301
株式(評価額)	41,886,506,377
投資証券(評価額)	1,306,479,242
未収入金	154,909,331
未収配当金	33,957,161
(B) 負債	154,366,875
未払金	154,366,600
未払利息	275
(C) 純資産総額(A-B)	44,559,216,537
元本	40,124,555,413
次期繰越損益金	4,434,661,124
(D) 受益権総口数	40,124,555,413口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,105円

[元本増減]

設定元本額	200,000,000円
期中追加設定元本額	69,743,314,412円
期中一部解約元本額	29,818,758,999円
1口当たり純資産額	1.1105円

[期末における元本の内訳]

MFS米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）	34,963,714,681円
MFS米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）	5,160,840,732円

○損益の状況（2021年2月3日～2022年11月21日）

項目	当期 円
(A) 配当等収益	558,322,309
受取配当金	558,559,687
その他収益金	76,761
支払利息	△ 314,139
(B) 有価証券売買損益	5,242,039,011
売買益	26,193,376,000
売買損	△20,951,336,989
(C) 保管費用等	△ 26,476,139
(D) 当期損益金(A+B+C)	5,773,885,181
(E) 追加信託差損益金	1,913,683,094
(F) 解約差損益金	△ 3,252,907,151
(G) 計(D+E+F)	4,434,661,124
次期繰越損益金(G)	4,434,661,124

(注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

マネー・トラスト・マザーファンド

第7期（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

信託期間	無期限（設定日：2016年1月29日）
運用方針	■主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

原則として、各表の数量および金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しています。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

■ 最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		公社入比率	純総資産額
		騰落	中率		
3期（2018年10月12日）	円		%	%	百万円
4期（2019年10月15日）	9,986	△0.1		68.2	10
5期（2020年10月12日）	9,980	△0.1		68.7	10
6期（2021年10月12日）	9,970	△0.1		74.8	12
7期（2022年10月12日）	9,962	△0.1		70.1	15
	9,958	△0.0		73.8	15

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

■ 当期中の基準価額と市況等の推移

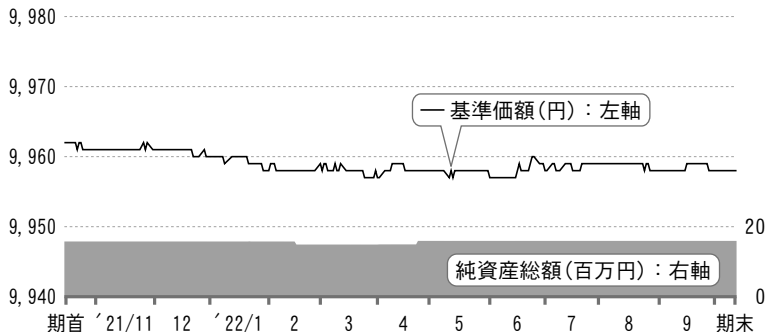
年月日	基準	価額		公社入比率	債率
		騰落	率		
(期首) 2021年10月12日	円		%		%
10月末	9,962		—		70.1
11月末	9,961		△0.0		70.1
12月末	9,961		△0.0		70.0
2022年1月末	9,960		△0.0		73.9
2月末	9,958		△0.0		73.9
3月末	9,959		△0.0		78.1
4月末	9,957		△0.1		78.2
5月末	9,957		△0.1		73.8
6月末	9,958		△0.0		73.8
7月末	9,959		△0.0		73.7
8月末	9,958		△0.0		73.7
9月末	9,958		△0.0		73.8
(期末) 2022年10月12日	9,958		△0.0		73.8

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

基準価額等の推移



期首	9,962円
期末	9,958円
騰落率	-0.0%

▶ 基準価額の主な変動要因（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

- ・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について（2021年10月13日から2022年10月12日まで）

短期金利は低下しました。

2月のロシアによるウクライナ侵攻をきっかけに商品市況が高騰したことから、世界的にインフレ圧力が強まりました。また、インフレが高止まりを続けたことから、各国中央銀行が大幅な利上げを継続した結果、為替市場では円安が加速しました。これらの影響により国内でも物価上昇率が拡大し、CPIコア（生鮮食品除く消費者物価指数）は前年比+3%近辺まで上昇しました。しかし、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方から、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、日銀が金融政策を据え置いたことや、需給動向を勘案し短期国債の買入れ額を調整したことから、期初より概ね横ばいで推移しました。期末にかけては、年未満運用二重が急速に強まったことから、一時的に大きく低下しました。

▶ ポートフォリオについて (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しの下、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

2 今後の運用方針

商品市況の高騰や為替の円安を背景に、当面は物価上昇率の高止まりが続きますが、日銀はコストプッシュ型の物価上昇は持続的でないとの見方を維持し、マイナス金利政策を継続する見込みです。従って、短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.005% (0.005)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	0	0.005	

期中の平均基準価額は9,959円です。

※期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	特殊債券	11,797	(11,000)

※金額は受渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

※（ ）内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等 (2021年10月13日から2022年10月12日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2021年10月13日から2022年10月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2022年10月12日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
					5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除く金融債券)	11,700 (11,700)	11,759 (11,759)	73.8 (73.8)	— (—)	— (—)	— (—)	73.8 (73.8)
合 計	11,700 (11,700)	11,759 (11,759)	73.8 (73.8)	— (—)	— (—)	— (—)	73.8 (73.8)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘	柄	期		末	
			利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
			%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除く金融債券)	180	政保道路機構	0.7340	3,000	3,005	2022/12/28
	189	政保道路機構	0.5410	2,800	2,809	2023/04/28
	2	政保新関西空港	0.8820	2,900	2,919	2023/06/27
	200	政保道路機構	0.8010	3,000	3,025	2023/09/29
合		計	—	11,700	11,759	—

■ 投資信託財産の構成

(2022年10月12日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	11,759	73.8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	4,182	26.2
投 資 信 託 財 産 総 額	15,942	100.0

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2022年10月12日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	15,942,148円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	4,163,216
公 社 債(評価額)	11,759,406
未 収 利 息	15,379
前 払 費 用	4,147
(B) 負 債	83
そ の 他 未 払 費 用	83
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	15,942,065
元 本	16,009,841
次 期 繰 越 損 益 金	△ 67,776
(D) 受 益 権 総 口 数	16,009,841口
1万口当たり基準価額(C/D)	9,958円

※当期における期首元本額15,836,660円、期中追加設定元本額1,044,392円、期中一部解約元本額871,211円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

ライフ・ジャーニー(かしこく育てるコース)	2,543,560円
ライフ・ジャーニー(かしこく使うコース)	2,453,434円
ライフ・ジャーニー(充実して楽しむコース)	721,009円
人生100年時代・世界分散ファンド(資産成長型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(3%目標受取型)	100,141円
人生100年時代・世界分散ファンド(6%目標受取型)	100,141円
人生100年応援ファンド(資産成長コース)	64,109円
人生100年応援ファンド(ちよっぴり受取コース)	32,055円
人生100年応援ファンド(おもいっきり受取コース)	24,041円
MF S・グローバル株式ファンド	100,181円
テトラ・エクイティ	1,503,157円
ボンド・ゼロトリプル(予想分配金提示型)	300,632円
ボンド・ゼロトリプル(資産成長型)	300,632円
テトラ・ネクスト	3,712,251円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジあり)	1,003,311円
MF S米国中型成長株式ファンド(為替ヘッジなし)	1,003,311円
PIMCOグローバル・ターゲット戦略債券ファンド2021-06(限定追加型)	903,343円
パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(資産成長型)	20,087円
パロン・グローバル・フューチャー戦略ファンド(予想分配金提示型)	20,087円
クライメイト・ソリューション・ファンド	1,004,218円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2021年10月13日 至2022年10月12日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	89,730円
受 取 利 息	91,481
支 払 利 損	△ 1,751
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 95,428
売 買 損 益	△ 95,428
(C) そ の 他 費 用 等	△ 714
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 6,412
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 60,632
(F) 解 約 差 損 益 金	3,660
(G) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 4,392
(H) 合 計(D+E+F+G)	△ 67,776
次 期 繰 越 損 益 金(H)	△ 67,776

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。